

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
402	川崎市立幸高等学校	百瀬 実

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
1 広く豊かな心と教養を持ち、自主的精神と態度を身につけた誠実清楚な人間を育成する。 2 礼儀と秩序を尊重し、責任感と協調性を持ち、社会の変化に対応できる力を育成する。 3 確かな学力を身につけ、専門的かつ国際的な視野を持ち、自己の可能性を追求する力を育成する。	◎豊かな心の育成 ◎確かな学力の向上 ◎魅力ある学校づくり ◎安心・安全な学校づくり	・望ましい人間関係の推進 ・指導と評価の一体化(特に観点別評価) ・GIGAスクール構想のさらなる推進 ・探究活動等を通じた家庭と地域との連携、協働 ・家庭との連携の強化

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	豊かな心の育成 ・いじめ根絶に向けた継続的な指導の実施 ・SNS等のトラブル未然防止に向けたコミュニケーション能力の向上 ・特別な配慮を必要とする生徒への対応	・いじめの早期発見を行うために、日常的な声かけと観察や5月と10月には学校生活アンケートを実施した。その中で生徒の気になる行動や言動等があれば迅速に情報共有し、指導を行い解消に努めた。 ・SNS等のトラブルを防ぐ講演会を1年生対象に行った。また、ホームルームや教科指導等の場面でトラブル防止の指導を行った。しかしながらSNSトラブルを未然に防ぐことができなかった。 ・年間通して隔週に1回支援委員会を開催し、特別に支援が必要な生徒に対する支援の状況と今後の対応について協議し、成果をあげた。また、スクールソーシャルワーカーや外部人材等を活用し、保護者と連携してスムーズに支援が行うことができた。	・いじめの早期発見に向けた教員研修を引き続き実施するとともに、生徒と職員の信頼関係を築いていくためのコミュニケーションスキルを向上させる。 ・情報安全教育を徹底する。SNS等の取扱い指導について生徒が主体的に取り組み生徒自身が自覚できるような指導の工夫に努める。 ・情報の共有と外部人材を活用しながら特別な配慮を必要とする生徒の支援をきめ細かに行う。
2	確かな学力の向上 ・家庭学習の定着に向けた自発的な学習の推進 ・学習評価を通じた学習指導の改善 ・校内OJTによる授業力向上の研修・実践 ・タブレットを活用した授業実践	・学校評価アンケートでは「基礎基本が身に付いた」は昨年度同様約88%の生徒が実感しているが「わかりやすい授業」では約5%数値が下がっている。授業展開の振り返りが必要である。「家庭学習での取組」について昨年度同様約50%の生徒が否定的であり、引き続き自学自習を主体的に行うための工夫が必要である。 ・新学習指導要領に基づく観点別評価について教員研修を行い、理解と実践に努めた。生徒や保護者に理解される指導と評価の一体化を確立させるために、今後も研究しながら授業改善に取り組んでいく。 ・今年度のOJTは「GIGA端末の効果的な活用」と「生徒の主体的な学習・活動を引き出す授業」をテーマに11月中旬より2週間にわたり実施した。実施後、教科ごとで振り返りを行いまとめを行った。他教科の指導場面を見ることができ参考になった反面、公務多忙の中、しっかりと振り返りができず課題も残った。 ・「タブレット活用の授業実践」ではGIGA端末の活用方法を各教科内で情報共有し、実践を行った。教員アンケートではGIGA端末を活用した授業研究について約40%が課題があると答えている。今後も継続的に行う必要がある。	・主体的な家庭学習の定着に向けて各教科と進路学習部が中心となり検証と効果的な対応策に基づき、実践していく。(新たな学習支援ソフトの導入) ・観点別評価について各教科内だけでなく学校全体で共通理解に努める。さらに研修を重ねて信頼される学習評価を構築していく。 ・校内OJTの実施方法を見直し、効果的な研修ができるように工夫する。 ・GIGA端末を活用した授業の取組を全体で共有し、各教科内で研究、推進していく。

3	魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・商業教育の活性化に向けた研究の推進 ・インターンシップの実践 ・普通科における生徒の進路実現に向けた取組の推進 ・幸探究(グローバル探究)の発展的継続と課題研究の充実化、豊富化に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「商品開発」の授業では地域と連携して「地域と共生する都市農業」や「川崎の特産物や流通、小売り」をテーマとして生徒が主体的に学んだ。「課題研究」では「観光」をメインテーマとして海外にSNS等でアピールできる川崎の場所やフード等の紹介をグループで考え、実際に現地に行って取材等を行い、発表まで作り上げた。12月の発表会では外部団体の方に見ていただき、おおむね好評であった。 ・インターンシップは、ビジネス教養科の1年生全員と保育分野を希望する2,3年生を対象にして夏季休業中に実施した。市教委に協力していただき、市内事業所38団体、54回に及ぶ実習を行った。体調不良等で数名参加できなかったが1年生115名、2・3年生17名がインターンシップを経験し、生徒の反応も良好だった。 ・普通科における生徒の進路実現に向けて進路指導部と学年が連携して事業を展開した。生徒向け進路学習会では内容と時間を工夫しながら進路実現のポイントについて指導を行った。また、今年度の保護者向け進路説明会は各学年ごとに行い、多数の保護者にご参加いただき進路活動の進め方について説明を行った。大学入試における総合型選抜の準備として小論文対策や面接対策を外部講師を活用しながら指導を行った。きめ細かな進路指導の成果として難関大学にも合格する生徒が出てきた。 ・普通科「幸探究」では1学年がスキル学習、新規で「校内探究」、2学年は「地域探究」、3学年は「近未来探究」、新規で「企業探究」をそれぞれ行った。外部団体や行政と連携して生徒が主体的に考え、実際に行動した。さらに、12月には探究発表会を全校生徒の参加で実施し、探究の成果をビジネス教養科の「課題研究」とコラボして発表する機会を作った。生徒の考察力や表現力の向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科、ビジネス教養科共に「リアル」をより意識した探究活動や課題研究を通じて、生徒が主体的に考え課題を解決する能力のさらなる向上を目指す。 ・次年度のインターンシップ事業を踏まえて発展的継続ができるように、事前、実施中、事後指導の具体的な計画を作成する。 ・今年度は大学進学で顕著な実績が上がったことから、詳細な分析を行い、次年度につなげる。また、進路希望の傾向と入試や入社試験の方法や内容を踏まえて、各学年の進路指導計画に反映させる。
4	安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全と自転車マナーの指導の徹底 ・定期的な学校施設・設備の安全点検の実施 ・情報配信の迅速化 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の交通安全指導、PTA交通安全委員と一緒に年2回行う朝の安全指導を行った。また年度末にはスクエアドストレートを実施し、自分事にとらえる取り組みを行った。しかし、自転車乗車マナーに関する苦情や自転車に関する事故が増えて効果があまり上がらなかった。抜本的な指導の見直しが課題となった。 ・学校施設、設備について教育職員や事務職員、ビルメンテナンス管理会社、業務職員と連携して安全点検と不具合の早期発見に努めて安心できる環境を整えた。また、地震等の災害に備えて転倒防止対策を各所で行った。経年劣化が進んでいる箇所もあり、来年度施工予定の大規模改修で改善できることを期待する。 ・ミマモルメを使用した保護者向け文書等のメール発信はほぼ遅滞なく行えた。アンケートにある「学校からの情報提供や連絡」については約75%の保護者がおおむね満足している結果となった。今後も迅速に保護者向け配布プリント等のメール発信を行える校内体制を構築していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導の継続と不断の注意喚起を行うとともに、生徒が主体的に交通マナーについて考える場の設定を行う。 ・定期的な学校施設・設備の安全点検の実施を継続する。また、環境整備推進室と連携して令和6年度予定されている校舎の外壁・防水工事実施に向けた準備に努める。 ・保護者向けにメール配信を利用した迅速で確実な情報提供に努める。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ
<p>○6月と2月の2回行われた学校教育推進会議では次のような評価や意見を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜では志願者数が増加し、進路では結果が充実して嬉しい。 ・登校時に自転車を利用している生徒が増加し、駐輪場が狭い。対策について検討してほしい。 ・男女比が変わり更衣室の課題があると聞いて、よい解決策があればと思う。 ・幸探究や課題研究等でプレゼン力が向上している。生徒と接しているとよくわかる。 ・家庭学習が少ないことは現役保護者としても深刻である。先生方のご苦勞を聞いて参考になった。 ・行事が楽しかったと子供から聞いている。 ・就職も丁寧にやっていただけた。 ・地域行事に部活動の皆さんが参加してくれてありがたい。次年度もお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止に関して早期発見、早期対応に努め、事案を認知した際にはいじめ防止対策会議をすぐに招集し、対応できた。今後は生徒とさらに深い信頼関係が築けるようなコミュニケーションをとっていく必要がある。 ○確かな学力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領完全実施の中で観点別評価における考え方を校内で統一するために研修を入れて対応した。また、主体的な学びを引き出す授業改善やその見取り方など課題も多く、次年度の課題となった。 ○魅力ある学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究や幸探究の活動から念願であった校内発表会を成功させることができた。今後の生徒の主体的な学びの促進や進路実現につながる効果が期待できる。次年度以降も継続的に行っていく。 ・部活動は運動部、文化部共に活発に活動し、全国大会出場やスピーチコンテスト優勝など結果も出すことができた。また、町内会のお祭りやイベントに出演して地域貢献することができた。今後も地域に根付いた活動をして学校理解に努めていきたい。 ○安心・安全な学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心安全に学ぶことができる環境づくりを今後も行っていきたい。大規模改修が次年度計画されておりそれに伴う安全確保を最優先にしていきたい。 ・避難訓練を実施したが学校評価アンケートを見ても防災意識が低いので次年度は生徒の意識づけができる活動を行いたい。